

## 文化・教育委員会 委員名簿

資料 1

(50音順、敬称略)

委員長	青柳 正規	東京大学名誉教授、多摩美術大学理事長 奈良県立橿原考古学研究所所長
委員	秋元 雄史	東京藝術大学大学美術館館長・教授、練馬区立美術館館長
	浅葉 克己	アートディレクター、桑沢デザイン研究所所長
	池坊 専好	華道家元池坊 次期家元
	市川 海老蔵	歌舞伎俳優
	今中 博之	社会福祉法人 素王会 理事長、 アトリエ インカーブ クリエイティブディレクター
	今村 久美	認定NPO法人カタリバ代表理事
	EXILE HIRO	アーティスト、プロデューサー
	小山 久美	昭和音楽大学短期大学部教授
	織作 峰子	大阪芸術大学教授
	桂 文枝	落語家
	喜名 朝博	全国連合小学校長会会長
	絹谷 幸二	東京芸術大学名誉教授、文化功労者
	コシノジュンコ	デザイナー
	真田 久	筑波大学体育系教授
	SHELLY	タレント
	篠田 信子	富良野メセナ協会代表、喫茶・ギャラリーあかなら代表
	杉野 学	全国特別支援学校長会顧問、東京家政学院大学教授
	銭谷 眞美	東京国立博物館長
	セーラ・マリ・カミングス	利酒師
	千 宗室	茶道裏千家家元
	田中 稔三	キャノン株式会社代表取締役副社長 CFO
	野村 萬斎	狂言師、世田谷パブリックシアター芸術監督
	深澤 晶久	実践女子大学 学長補佐 文学部国文学科教授 オリンピック・パラリンピック連携事業推進室
	三田村 裕	全日本中学校長会会長
	宮田 慶子	新国立劇場演劇研修所長
	村田 吉弘	特定非営利活動法人日本料理アカデミー理事長、 菊乃井主人、文化功労者
	山崎 貴	映画監督
	吉本 光宏	株式会社ニッセイ基礎研究所研究理事



参考資料

# 東京2020教育プログラム「ようい、ドン！」の 進捗報告

2021年2月3日

## ■ 目次

- 1 「よいい、ドン! スクール」 状況報告
- 2 オリンピック・パラリンピック教材
- 3 2020年の主な取組
- 4 東京2020教育プログラム特設サイト「Tokyo 2020 for KIDS」等について
- 5 北京、パリ組織委員会、IOC及びIPCとの取組の共有
- 6 パートナーとの連携・関係機関による取組例
- 7 (参考) 2020年度 大学連携の主な取組について

# 1 ようい、ドン！スクール：認証校数

○ 2021年1月1日時点で**18,892校**に拡大



都道府県	学校数
北海道	805
青森県	245
岩手県	293
宮城県	358
秋田県	192
山形県	191
福島県	501
茨城県	543
栃木県	441
群馬県	282
埼玉県	1,462
千葉県	1,387

都道府県	学校数
東京都	2,705
神奈川県	1,461
新潟県	788
富山県	221
石川県	174
福井県	149
山梨県	89
長野県	336
岐阜県	287
静岡県	489
愛知県	749
三重県	291

都道府県	学校数
滋賀県	193
京都府	104
大阪府	102
兵庫県	189
奈良県	206
和歌山県	185
鳥取県	51
島根県	63
岡山県	274
広島県	238
山口県	448
徳島県	68

都道府県	学校数
香川県	142
愛媛県	242
高知県	162
福岡県	572
佐賀県	120
長崎県	224
熊本県	207
大分県	162
宮崎県	168
鹿児島県	234
沖縄県	79
海外	20

# 1 ようい、ドン! スクール : 取組事例



幼保連携認定こども園（東京都）  
オリンピックの要素を取り入れた表現運動



小学校（山形県）  
オリンピックを表現した劇



小学校（千葉市）  
ゴールボール体験



中学校（埼玉県）  
混合リレー



高等専修学校（兵庫県）  
ガイドランナー体験



教員研修  
車いすバスケットボール体験



## 2 オリンピック・パラリンピック教材：教材等の開発

- 学校におけるオリンピック・パラリンピック教育に活用いただけるよう、関係団体と連携の上、教材及び指導案、授業用資料等を開発
- 以下の教材・授業用資料等を開発し、活用促進を図っているところ ※ウェブ配信

### (教材)

- ・ IOC公認教材「OVEP (Olympic Values Education Programme) 」
- ・ IPC公認教材『 I'mPOSSIBLE 』
- ・ 東京都教育委員会作成教材「オリンピック・パラリンピック学習読本」

### (指導案の一例) 新たに追加した例

- ・ 観戦のための事前・事後学習指導案※

### (その他の授業用資料等の一例) 新たに追加した例

- ・ 東京2020聖火リレー関連 …クイズ、応援メガホン、教育動画
- ・ 持続可能性に関する教材 …スライド資料、ワークシート※
- ・ 東京2020大会観戦関連 …観戦ワークシート※、調べ学習用資料
- ・ OVEPに基づく児童・生徒用ワークシート※



※国立大学法人筑波大学監修

### 3 2020年の主な取組

#### ○ 大会延期に伴う各種期間延長

ようい、ドン！スクールの募集を2021年5月末まで延長。

ようい、ドン！スクールの事業実施期限を2021年9月末まで延長。

東京2020聖火リレー×教育プログラムの受付期間を2021年9月10日まで延長。

東京2020教育プログラム特設サイトの開設期間を2021年9月末まで延長。

### 3 2019年12月以降の取組

2019年12月～2020年2月	2020年3月	春休み	2020年4月～7月	夏休み	2020年9月～12月	冬休み	2021年1月～
------------------	---------	-----	------------	-----	-------------	-----	----------

2019年12月  
東京2020  
高校生英語スピーチ  
コンテスト最終審査会

2020年3月24日  
東京2020大会の  
延期発表

2020年4月7日～5月25日まで  
緊急事態宣言発令

緊急事態宣言発令

2020年1月  
東京2020聖火リレー公式ア  
ンバサダーによる学校訪問

自宅で楽しめるコンテンツ  
等の配布

自宅で楽しめる  
コンテンツ等の  
配布

みんなの  
スポーツ  
フェスティバル（秋）

自宅学習でも授業でも活用できる教材の配布

聖火リレー関連教材の配布

ブルー：プロジェクト  
ピンク：教材



# 3-1 東京2020高校生英語スピーチコンテスト：概要

## ○ 概要

若者世代における「平和の祭典」としてのオリンピックの価値の普及促進のため、東京2020教育プログラムの一環として英語スピーチコンテストを実施。

## ○ 対象・テーマ等

個人賞は、高等学校等に在籍している生徒を対象に「平和な世界に向けてスポーツの果たす役割」を題材とした3～5分間のスピーチを募集。学校賞は、東京2020教育プログラム認証校である高等学校等を対象に、本テーマに関する学校での優れた取組事例を募集。

## ○ スケジュール

2019年4月24日（水） 募集要項発表、公開授業実施

2019年10月23日（水） 応募締切

2019年10～11月 一次審査（個人賞）、最終審査（学校賞）

2019年12月22日（日） 最終審査会（個人賞） 兼 表彰式（個人賞及び学校賞）

## ○ 実施体制

（主催）東京2020 （共催）イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン （後援）文部科学省



最終審査会兼表彰式終了後の様子

# 3-1 東京2020高校生英語スピーチコンテスト：審査結果

## ○ 審査方法

### 個人賞

東京2020とEF社による、テーマの理解度、表現力、英語力等を審査基準とした総合的な審査により、全国168名の応募者から10人の最終審査対象者を選出。最終審査対象者は審査員及び聴衆の前でスピーチを披露し、審査員による採点と集計により受賞者を決定。

### 学校賞

審査員の審査により、埼玉県立草加南高等学校を受賞校として決定。



## ○ 審査結果

### 個人賞

- 最優秀賞 池田真理奈さん（静岡県立静岡高等学校2年）  
EF特別優秀賞 山田麻心さん（ぐんま国際アカデミー高等部2年）  
優秀賞 高粹彬さん（長崎県立佐世保北高等学校1年）  
杉本英輝さん（早稲田高等学校1年）

※2019年12月22日時点の学年を記載しています。

### 学校賞

- 東京2020賞 埼玉県立草加南高等学校



## 3-1 東京2020高校生英語スピーチコンテスト：受賞内容

### 最優秀賞：静岡県立静岡高等学校2年 池田真理奈さん

東京1964オリンピックの開会式と戦前の出陣学徒壮行会の様子を重ね、「きょうをきょうの美しさのまま、なんとしてもあすへつなげなければならない」と祈った作家・杉本苑子さんの作品を取り上げ、池田さんご自身の平和への願いを重ねた英語スピーチでした。



### EF特別優秀賞：ぐんま国際アカデミー高等部2年 山田麻心さん

フィリピンでのボランティア活動中にバスケットボールを通して交流を深められた経験から、「スポーツは勝ち負けではなく、人とのつながり、感情の共有をもたらす力がある」ことを豊かな表現力で訴えかけました。



### 東京2020賞（学校賞）：埼玉県立草加南高等学校

草加南高校は、「日本人ができる外国人へのおもてなし」をテーマに、生徒自らが考え、議論し、英語でプレゼンテーションを行ったという点が高く評価されました。

※2019年12月22日時点の学年を記載しています。

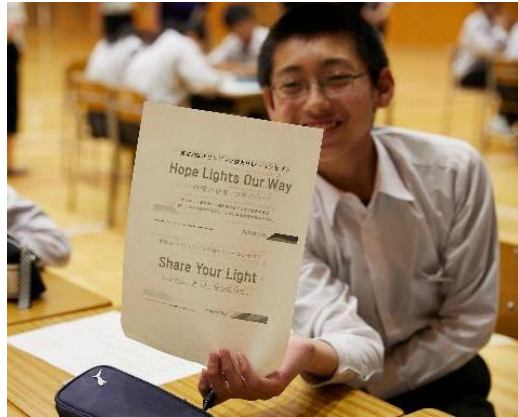




## 3-2 東京2020聖火リレー×教育プログラム

### ○ 概要

- ・ 聖火リレーは全国の児童・生徒が東京2020大会に直接参加できる貴重な機会。
- ・ 東京2020教育プログラムでは、子供たちの聖火リレーに対する機運の最大化を目指し、全国の学校に対し、聖火リレーの意義・目的の理解、参加促進に資する取組を展開する。





# 3-2 東京2020聖火リレー×教育プログラム

## ○ 東京2020教育プログラムにおける取組

### ① 聖火リレー関連教材等を配布

クイズ、応援メガホン、聖火リレー教育動画を新たに開発し、データを無償配布。

### ② 東京2020聖火リレー公式アンバサダー学校訪問イベント

アンバサダーのご協力により、聖火リレーに関する交流イベントを学校で実施。

2019年6月宮城県石巻市の中学校、11月千葉県東金市の特別支援学校、

2020年1月東京都世田谷区の小学校で実施済み。

※東京2020聖火リレー公式アンバサダー：

野村忠宏さん・田口亜希さん・石原さとみさん・サンドウィッチマンさん

### ③ 学校から取組レポートを収集・ウェブサイトへの掲載

聖火リレー教育への取組内容レポートを収集し、一部を教育プログラム

特設サイトで紹介。レポート提出校に、アンバサダーのメッセージ入り

感謝状を贈呈。※レポート受付期間を2021年9月末まで延長。



## 3-3 東京2020みんなのスポーツフェスティバル



### ○ 概要

- ・ 運動会等で行われるオリンピック・パラリンピックに関連したプログラムを募集し、優れたものを表彰
- ・ 2019年春と秋の2回に分けて実施

### ○ 目的

- ・ スポーツへの関わり方（する・観る・支える）やオリンピック・パラリンピックの価値・意義を学ぶ機会の提供
- ・ 運動会等を通じ、東京2020大会への参画意識を高め、大会の機運醸成を図ること

### ○ 参加状況

春：2019年5月7日（火）～7月31日（水） 参加校数：80校

秋：2019年9月2日（月）～12月20日（金） 参加校数：48校

表彰式：2019年10月山梨県の小学校で実施





## 3-4 東京2020大会に向けたポスター募集企画

### ○ 概要

- ・ 全国の小・中学生等から、東京2020大会に向けたポスターを募集
- ・ 2015年度から2019年度まで実施。  
(応募作品総数：約120,000点)

### ○ 目的

- ・ 東京2020大会に向けて、学校や子どもたちの大会への関心を高め、大会の機運醸成を図ること。



### ○ 応募作品の活用

- ・ 自治体やパートナー企業の協力のもと、パネル展示や動画放映等を2020年度も継続して実施。また、大会関連施設での展示も検討。



# 3-5 東京2020算数ドリル

## ○ 目的

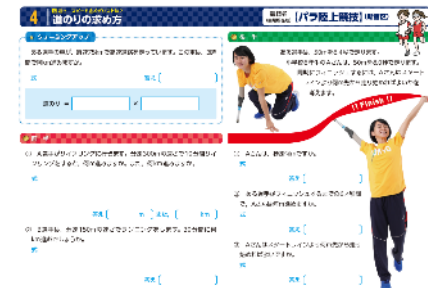
- ・ 子供たちに楽しく算数を学習しながら、競技についても自然に学んでもらうこと

## ○ 概要

- ・ 東京2020大会の全55競技を取り入れた問題で構成された小学6年生向けの算数ドリルを作成・配布
- ・ 2018年度は、渋谷区内の全公立小学校18校約1,000人に配布
- ・ 2019年度は、都内全公立小学校1,273校の約10万人に配布、さらに、アスリートを学校に招いて実践学習会を15回実施
- ・ 2020年度は入手を希望する自治体に、条件付きでデータを無償提供。

## ○ 実施体制

東京2020算数ドリル実行委員会（トヨタ自動車株式会社、キヤノン株式会社、ENEOS株式会社（2020年6月25日をもってJXTGエネルギー株式会社から商号変更）、株式会社NTTドコモ、富士通株式会社、株式会社 明治、凸版印刷株式会社、東京2020組織委員会）





## 3-6 新たに追加した教材等（聖火リレー関連）

### ○東京2020聖火リレークイズ

東京2020聖火リレーの歴史や意義、東京2020聖火リレーのコンセプト等を楽しく学んでもらうための、クイズ形式の教材。2020年度はパラリンピック聖火リレークイズを追加。

### ○東京2020聖火リレー応援メガホン

聖火や聖火リレーを学びながら作成できるメガホンの制作キット。オリジナルの応援メッセージも記入できる。

### ○東京2020オリンピック聖火リレー教育動画

過去大会の映像を交えつつ、オリンピック聖火や東京2020オリンピック聖火リレーを紹介する5分程度の動画。



東京2020聖火リレークイズ  
(パラリンピック版)



東京2020聖火リレー応援メガホン



東京2020オリンピック聖火リレー教育動画

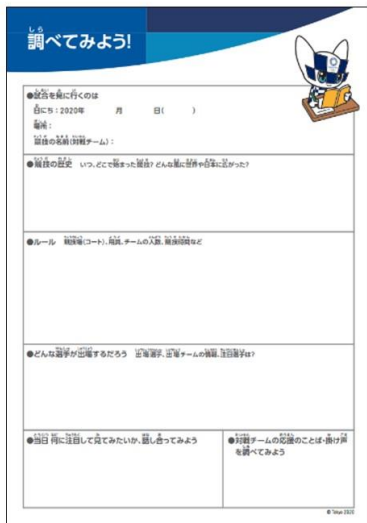
# 3-7 新たに追加した教材等（東京2020大会観戦関連）

## ○観戦のための事前・事後学習指導案、観戦ワークシート

オリンピック・パラリンピックの意義や競技のルール等を学んでいただくための教師用指導案、児童・生徒用ワークシート。監修：国立大学法人筑波大学

## ○東京2020オリンピック・パラリンピック競技図鑑

興味・関心のある競技を調べ、ルール等を学びながら図鑑のページを作成し1冊の図鑑としてまとめることで、より楽しく競技を観戦してもらうための調べ学習用資料。



東京2020オリンピック・パラリンピック観戦ワークシート

東京2020オリンピック・パラリンピック競技図鑑

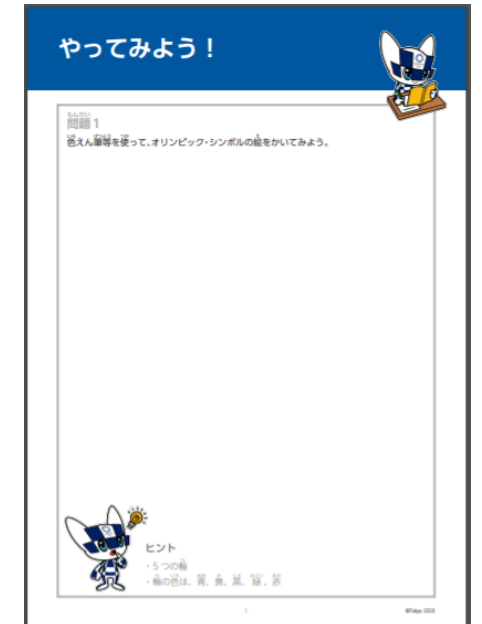
# 3-8 新たに追加した教材等（自宅学習でも活用可能な教材等）

## ○持続可能性に関する教材

東京2020大会における持続可能性に関する取組や、SDGsとの関連を学んでもらうためのスライド・ワークシート。ワークシートの監修：国立大学法人筑波大学

## ○OVEPに基づく児童・生徒用ワークシート

オリンピック・シンボルやアスリート等について学ぶことができるワークシート。子供たちが自宅でもオリンピック学習に取り組むことができることを目的とする。監修：国立大学法人筑波大学



持続可能性に関する教材（スライド・ワークシート）

OVEPに基づく児童・生徒用ワークシート

# 4 東京2020教育プログラム特設サイト等について

## ○ 特設サイト「TOKYO 2020 for KIDS」（日・英）

- ・主に学校・教育委員会向けの情報発信の場として以下のコンテンツを配信
  - 教育プログラムや東京2020に関する最新ニュース
  - オリンピック・パラリンピック、東京2020大会に係る基礎知識
  - オリンピック・パラリンピック関連教材等
  - オリンピック・パラリンピック教育の取組事例
  - 学校が参加できるイベント・プログラムの紹介 等
- ・2020年の閲覧者数は、大会延期前と同等を維持、教材等の総ダウンロード数も前年の約1.68倍となり（前年度月平均）、年間10万ダウンロード以上を達成。

## ○ 認証校向けメールマガジン「ようい、ドン！通信」

- ・「ようい、ドン！スクール」として認証された学校向けの情報発信ツールとして2か月に1回程度配信
- ・東京2020に関する最新ニュースのほか、教材追加や関係団体による取組の紹介記事を配信
- ・東京2020マスコットの各種ポーズのイラストデータも配布中





# 5 北京、パリ組織委員会、IOC及びIPCとの取組の共有

## ○概要

IOC及びIPCの調整の元、東京2020大会に関連する教育プログラムの実施状況を北京、パリの組織委員会の教育チームに対して共有するとともに、北京、パリの組織委員会からも取組状況を報告してもらい、教育プログラムの更なる効果的な実施について議論を行った。

## ○参加機関

IOC、IPC、北京2022組織委員会、パリ2024組織委員会、JOC、JPC、スポーツ庁、東京都教育委員会、筑波大学、日本財団パラリンピックサポートセンター  
東京2020組織委員会

## ○実施日程

2020年12月3,4日の2日間



## 6-1 パートナーとの連携・関係機関による取組例

### ○ 『I'mPOSSIBLE』（アムポッシブル）日本版教員研修

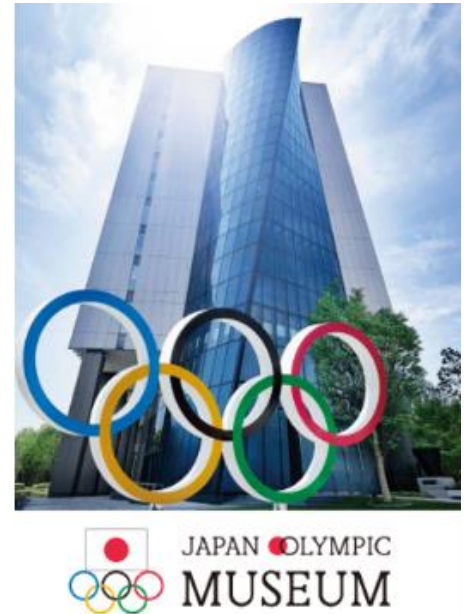
（I'mPOSSIBLE日本版事務局）

- ・ 教員向けに、パラリンピック教育や意義の理解を深めると共に、本教材の役割や活用方法、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を展開するためのアイデアなどを提供する。  
個人で参加できるオンライン研修を開催し、団体で開催する研修への講師依頼を受け付けている。

### ○ 日本オリンピックミュージアム 東京2020オリンピック聖火を展示しました

（（公財）日本オリンピック委員会）

- ・ 東京2020オリンピック聖火は2020年9月1日（火）から11月1日（日）まで日本オリンピックミュージアムにて展示された。日本オリンピックミュージアムでは、オリンピック・ムーブメントの発信拠点として様々な活動を展開。実物資料及び映像等の展示を通して、オリンピックの歴史や意義を学び、知識を深めることができる。



## 6-2 パートナーとの連携・関係機関による取組例

### ○ 英語教員派遣事業

(イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社)

- ・ EF社のネイティブ講師による、オリンピック・パラリンピックについて英語で学ぶ授業を原則無償で実施。

講座は、オンライン授業又は実際の出張授業で行われている。

- ・ 実績：オンライン・オフライン授業を合計48,629人に提供、訪問した学校数193校（2021年1月時点の総合計）  
2021年1月27日から名古屋市立緑高等学校にてオンラインの授業を160人に対して実施。



## 7 (参考) 2020年度 大学連携の主な取組について

### ○「出張講座プログラム」をオンラインで実施

多くの大学が遠隔授業へ移行した状況を踏まえ、これまで大学に伺い対面形式で行っていた「出張講座プログラム」を、オンライン形式に更新し、今年度も実施を継続した。

大会の意義・理念を伝えるとともに、実習や課外活動が制限された学生にとっては、これからの社会生活や社会問題、学生のキャリア形成等について考える機会となった。

また、オンラインという利便性もあり、申込大学の約半数は初めての参加、全体では、例年以上の実施件数となった。

実施時期：2020年6月～2021年1月（後期授業より本格的に開始）

実施件数：42回（予定）

参加人数：約3,000人以上

主なテーマ：共生社会、多様性、ダイバーシティ&インクルージョン、持続可能性、国際交流、国際社会、文化プログラム 等





## 7 (参考) 2020年度 大学連携の主な取組について

### ○ 大学連携協定の継続について

大会延期に伴い、現在、協定を締結している全国810の大学・短期大学に協定の継続を依頼。すべての大学・短期大学からご同意いただき、引き続き、協力体制を図っていくこととなった。

### ○ Tokyo2020学園祭 online

例年開催してきた、機運醸成イベント「Tokyo2020学園祭」を「オンライン学園祭」として実施。

学生たちが「東京アクアティクスセンター完成披露式典」を取材し、自ら動画番組を制作。2020年11月8日、オンライン形式で行われた「早稲田祭2020」内で、生配信を行った。

学生ならではの視点で、東京2020大会の準備が着実に進んでいる様子や、競技会場の迫力、競技観戦の楽しさを発信し、大会への期待や関心を高めた。

